

急速充電設備概要表

項 目		良	否
工 事 種 別	☒ 新設・ ☐ 増設・ ☐ 移設・ ☐ その他（ ）		
設 置 場 所（階）	☐ _____階 ・ ☐ 屋上 ・ ☒ 屋外		
全 出 力	<u>100</u> kW（ <u>1</u> 台） _____ kW（_____台） _____ kW（_____台） _____ kW（_____台）		
消 火 設 備	☒ 消火器・ ☐ 大型消火器・ ☐ スプリンクラー・ ☐ 水噴霧・ ☐ CO ₂ ・ ☐ ハロン ☐ 粉 末・ ☐ IG55・ ☐ IG541・ ☐ 窒 素・ ☐ HFC227・ ☐ HFC23		
屋外設置の場合	☒ 離隔距離3m以上 ☐ 消防長が認める延焼を防止するための措置 ☐ その他（_____）		
設 備 概 要	筐体の素材 ☒ 不燃性の金属材料 ☐ その他 雨水等の浸入防止措置 ☒ IP33以上 ☐ その他（_____） 絶縁されていない場合、充電を開始させない措置 ☒ 有 ☐ 無 確実に接続されていない場合、充電が開始されない措置 ☒ 有 ☐ 無 電圧が印加されている場合、接続部が外れない措置 ☒ 有 ☐ 無 漏電、地絡及び制御機能の異常を検知し、停止させる措置 ☒ 有 ☐ 無 電圧及び電流を自動的に監視し、自動停止させる措置 ☒ 有 ☐ 無 異常な高温となった場合、自動停止させる措置 ☒ 有 ☐ 無 手動で緊急停止させることができる措置 ☒ 有 ☐ 無 コネクタの落下防止措置 ☒ 有 ☐ 無 充電用ケーブルを冷却する機構（液冷機構） ☐ 有 ☒ 無 冷却液が内部基盤等に影響を与えない構造 ☐ 有 ☐ 無 流量・温度異常検知及び停止措置 ☐ 有 ☐ 無 充電用ケーブル ☐ 1本 ☒ 複数（切替開閉器異常検知及び停止措置 ☒ 有 ☐ 無）		
耐 震 措 置	耐震クラス ☐ S・ ☒ A・ ☐ B アンカーボルト <u>12</u> φ× <u>4</u> 本		
衝 突 防 止 措 置	☒ 有 ・ ☐ 無		
蓄 電 池 制 御	☐ 蓄電池なし ☒ 蓄電池内蔵 バッテリーマネジメントシステム ☒ 有 ☐ 無 温度の異常検知及び停止措置 ☒ 有 ☐ 無 制御機能の異常検知及び停止措置 ☒ 有 ☐ 無		
認 証	☒ 有（認証機関名 <u>一般社団法人〇〇〇〇</u> ） ・ ☐ 無		
そ の 他	製造者名_____ 型式_____		

備考1 項目中、□欄は該当するものに✓印を付し、下線部分には該当する内容を記入すること。

2 良否欄は、記入しないこと。

発電設備概要表

項 目		良	否
設備種別	☒ 低圧発電 ・ ☐ 高圧発電		
工事種別	☒ 新設 ・ ☐ 増設 ・ ☐ 移設 ・ ☐ その他 ()		
設置場所 (階)	☐ _____ 階 (地下階はBを付けて入力) ・ ☒ 屋上 ・ ☐ 屋外		
電 圧	☐ 105 ・ ☒ 210 ・ ☐ 415 ・ ☐ その他 _____ V		
出 力	出力容量 <u>198</u> kVA × 力率 = <u>80</u> % = <u>158</u> kW		
キュービクル該当	☒ キュービクル該当 ・ ☐ キュービクル非該当 (☐ 開放式 ・ ☐ エンクロージャー)		
非常電源該当	☒ 非常電源該当 ・ ☐ 非常電源非該当		
熱 源 区 分	☒ 灯油 (軽油) ・ ☐ 重油 (特A重油含む) ・ ☐ その他の液体燃料 ☐ 都市ガス ・ ☐ LPガス ・ ☐ その他の気体燃料		
消 火 設 備	☒ 消火器 ・ ☐ 大型消火器 ・ ☐ スプリンクラー ・ ☐ 水噴霧 ・ ☐ CO ₂ ・ ☐ ハロン ☐ 粉 末 ・ ☐ IG55 ・ ☐ IG541 ・ ☐ 窒 素 ・ ☐ HFC227 ・ ☐ HFC23		
保 守 管 理	☐ 非該当 ・ ☒ 自家 ・ ☐ 委託 ・ ☐ その他		
設 置 室	構造 壁 (☐ 耐 火 ・ ☐ 準耐火 ・ ☐ 不 燃) 天 井 (☐ 耐 火 ・ ☐ 準耐火 ・ ☐ 不 燃) 開口部 (☐ 防火戸 ・ ☐ 特定防火設備である防火戸) 換 気 { ☐ 自然換気 (☐ FD付き) ☐ 機械換気 (ダクト ☐ FD付き ・ ☐ 耐火被覆) } ケーブル等の貫通部 (☐ BCJ工法 ・ ☐ 不燃区画 ・ ☐ その他 _____) 面積 _____ m ²		
電 気 方 式	☒ 発電専用 ・ ☐ 発電 + 熱供給 ・ ☐ その他発電		
機 器 種 別	☐ ガソリン発電 ・ ☒ ディーゼル発電 ・ ☐ ガス発電 ☐ ガスタービン発電 ・ ☐ 燃料電池 ・ ☐ その他の発電		
設 備 概 要	型式番号 <u>○○○○</u> 冷却水のタンク容量 <u>140</u> 運転可能時間 <u>24</u> 時間 燃料タンク容量 (メインタンク <u>9800</u> + サービスタンク _____) 1時間あたりの燃料消費量 <u>400</u> 運転可能時間 <u>24</u> 時間 始動方式 ☒ 蓄電池設備方式 (☐ 制御用蓄電池の消防庁告示適合の有無 ☐ 有 ・ ☐ 無) ☐ 空気始動 始動用不足電圧継電器の位置 ☐ 主遮断機の2次側 ・ ☐ 防災用低圧変圧器の2次側 ☐ その他 _____ 燃料電池の種別 ☐ リン酸型 ・ ☐ 熔融炭酸塩類型 ・ ☒ 固体電解質型 ・ ☐ 固体高分子型 コージェネレーション ☐ 有 ・ ☐ 無 運転形態 ☒ 系統独立運転 ・ ☐ 系統連携運転 安全対策 ☐ ガス検知器 (☐ 燃料停止 ・ ☐ 発電停止 ・ ☐ 緊急遮断弁) 容量計算書の添付 ☒ 有 ・ ☐ 無		
耐 震 措 置	耐震クラス ☒ S ・ ☐ A ・ ☐ B アンカーボルト <u>10</u> φ × <u>8</u> 本		
中 央 監 視 室	☐ 設置有 ・ ☒ 設置無		
そ の 他	非常電源の認定番号 <u>○○○○</u> 製造者名 <u>○○○株式会社</u>		

備考1 項目□欄は、該当するものを✓印で、アンダーライン部分には該当する内容を記入すること。

2 良否欄は、記入しないこと。

3 条例第12条の区画ごとに作成すること。

変電設備概要表

項 目		良	否
設備種別	☒ 高压変電・ ☐ 特別高压変電・ ☐ 低压受電・ ☐ 借用変電		
工事種別	☒ 新設・ ☐ 増設・ ☐ 移設・ ☐ その他（ ）		
設置場所（階）	☐ _____ 階（地下階はBを付けて入力） ・ ☐ 屋上 ・ ☒ 屋外		
電 圧	☒ 6,600 ・ ☐ 22,000 ・ ☐ 66,000 ・ ☐ その他 _____ V		
出 力	_____ 4 5 0 k V A × (☒ 0.8、 ☐ 0.75、 ☐ 0.7) = _____ 3 6 0 k W		
キュービクル該否	☒ キュービクル該当 ・ ☐ キュービクル非該当 (☐ 開放式・ ☐ 閉鎖式)		
非常電源該否	☐ 該当 (非常電源専用受電設備) ・ ☒ 非該当 (一般変電)		
消 火 設 備	☒ 消火器・ ☐ 大型消火器・ ☐ スプリンクラー・ ☐ 水噴霧・ ☐ CO ₂ ・ ☐ ハロン ☐ 粉 末・ ☐ I G 55・ ☐ I G 541・ ☐ 窒 素・ ☐ H F C 227・ ☐ H F C 23		
保 守 管 理	☐ 非該当 ・ ☐ 自家 ・ ☒ 委託 ・ ☐ その他		
設 置 室	構造 壁 (☐ 耐 火・ ☐ 準耐火・ ☐ 不 燃) 天 井 (☐ 耐 火・ ☐ 準耐火・ ☐ 不 燃) 開口部 (☐ 防火戸・ ☐ 特定防火設備である防火戸) 換 気 { ☐ 自然換気 (☐ F D 付き) ☐ 機械換気 (ダクト ☐ F D 付き ・ ☐ 耐火被覆) } ケーブル等の貫通部 (☐ B C J 工法・ ☐ 不燃区画・ ☐ その他 _____) 面積 _____ m ²		
電 気 方 式	☒ 1 回線受電 ・ ☐ 本線予備線 ・ ☐ ループ受電 ・ ☐ スポットネットワーク		
機 器 種 別	☐ 油入変圧器 ・ ☐ 乾式モルト [※] 式変圧器 ・ ☐ ガス絶縁式変圧器 ☐ その他の乾式等変圧器 ・ ☐ 油・乾混在変圧器 ☐ 油入主体変電設備 ・ ☐ 乾式主体変電設備 ・ ☐ その他の変電設備		
設 備 概 要	受電用遮断器の種類 ☒ V C B ・ ☐ O C B ・ ☐ A C B ・ ☐ L B S ・ ☐ P F ・ ☐ その他 _____ 主変圧器容量 3 φ 3 W _____ 3 0 0 k V A 1 φ 3 W _____ 1 0 0 k V A 3 φ 3 W _____ k V A 1 φ 3 W _____ 5 0 k V A 3 φ 3 W _____ k V A 1 φ 3 W _____ k V A 3 φ 3 W _____ k V A 1 φ 3 W _____ k V A 進相コンデンサの種類 ☒ 油入・ ☐ 油入密封方式・ ☐ 乾式・ ☐ モルト [※] ・ ☐ ガス絶縁・ ☐ その他 _____ 進相コンデンサの容量 3 φ 3 W _____ 5 0 k V a r × _____ 2 台 進相コンデンサの容量 3 φ 3 W _____ k V a r × _____ 台 リアクトルの種類 ☐ 油入・ ☐ 油入密封方式・ ☐ 乾式・ ☐ モルト [※] ・ ☐ ガス絶縁・ ☐ その他 _____ V C T ☒ 油入・ ☐ 乾式・ ☐ モルト [※] ・ ☐ ガス絶縁・ ☐ その他 _____ 制御用蓄電池の消防庁告示適合の該否 ☐ 該・ ☒ 否 保護協調に関する説明書貼付 ☒ 有・ ☐ 無		
耐 震 措 置	耐震クラス ☐ S ・ ☐ A ・ ☒ B アンカーボルト _____ 1 6 φ × _____ 4 本		
中 央 監 視 室	☐ 設置有 ・ ☒ 設置無		
そ の 他	非常電源の認定番号 _____ 製造者名 _____		

備考1 項目□欄は、該当するものを✓印で、アンダーライン部分には該当する内容を記入すること。

2 良否欄は、記入しないこと。

3 条例第11条の区画ごとに作成すること。

蓄電池設備概要表

項 目		良	否
設 備 種 別	☐ 100V未満の蓄電池 ・ ☒ 100V以上の蓄電池		
工 事 種 別	☐ 新設 ・ ☒ 増設 ・ ☐ 移設 ・ ☐ その他 ()		
設 置 場 所 (階)	☒ _____5階 (地下階はBを付けて入力) ・ ☐ 屋上 ・ ☐ 屋外		
電 圧	<u>432</u> V		
出 力 (設 備 容 量)	<u>43.2</u> kWh		
キュービクル該当	☒ キュービクル該当 ・ ☐ キュービクル非該当 (☐ 開放式 ・ ☐ エンクロージャー)		
非 常 電 源 該 否	☐ 非常電源該当 ・ ☒ 非常電源非該当		
消 火 設 備	☒ 消火器 ・ ☐ 大型消火器 ・ ☐ スプリンクラー ・ ☐ 水噴霧 ・ ☐ CO ₂ ・ ☐ ハロン ☐ 粉 末 ・ ☐ IG55 ・ ☐ IG541 ・ ☐ 窒 素 ・ ☐ HFC227 ・ ☐ HFC23		
保 守 管 理	☐ 非該当 ・ ☐ 自家 ・ ☒ 委託 ・ ☐ その他		
設 置 室	構造 壁 (☒ 耐 火 ・ ☐ 準耐火 ・ ☐ 不 燃) 天 井 (☒ 耐 火 ・ ☐ 準耐火 ・ ☐ 不 燃) 開口部 (☒ 防火戸 ・ ☐ 特定防火設備である防火戸) 換 気 { ☐ 自然換気 (☐ FD付き) ☒ 機械換気 (ダクト ☒ FD付き ・ ☐ 耐火被覆) } ケーブル等の貫通部 (☐ BCJ工法 ・ ☐ 不燃区画 ・ ☐ その他 _____) 面積 <u>4</u> m ²		
電 気 方 式	☐ 変電操作用 ・ ☐ 発電起動用 ・ ☐ 防災設備用 ・ ☐ 無停電電源用 ☐ その他の蓄電池 ・ ☒ UPS方式 (総合操作盤用) ・ ☐ その他 _____		
機 器 種 別	☐ 鉛ベント形 ・ ☐ 鉛封入触媒栓式 ・ ☒ 鉛封入陰極吸収式 ☐ アルカリ封入触媒栓式 ・ ☐ アルカリ封入陰極吸収式 ☐ リチウムイオン蓄電池 ・ ☐ その他の蓄電池		
耐 震 措 置	耐震クラス ☐ S ・ ☒ A ・ ☐ B アンカーボルト <u>20</u> φ × <u>8</u> 本		
そ の 他	非常電源の認定番号 _____ 製造者名 _____		

備考1 項目□欄は、該当するものを✓印で、アンダーライン部分には該当する内容を記入すること。

2 良否欄は、記入しないこと。

3 条例第13条の区画ごとに作成すること。